

# TEシリーズ 取付マニュアル

本体ユニット名  
**MB-E**

TEシリーズ（以降本製品と記述）の取り付けには、車両部品の取り外しや加工が必要になります。  
本書に記載された手順や注意事項にしたがって取り付けてください。

## 危険

適合が明記されている車種以外には取り付けできません。  
適合車種は、店頭または当社WEBサイトの車種別ハーネス適合表でご確認ください。

マニュアル車には絶対に取り付けしないでください。マニュアル車は、冬季にパーキングブレーキの凍結を防ぐため、パーキングブレーキをかけずにギアを「ロー」もしくは「バック」に入れ駐車する場合があります。また、坂道などに駐車する際にもギアを「ロー」もしくは「バック」に入れます。その状態でエンジンスタートを使用すると、無人走行の原因となり、大事故につながる恐れがあります。



●マニュアル車には取り付けできません。



外車  
特種用途自動車

●外車・特種用途自動車には、取り付けできません。



●エンジン始動時にアクセル操作が必要な車には、取り付けできません。

●年間を通じ、始動操作をして2秒程度でエンジンのからない車には、取り付けできません。

●雨滴感応ワイパー装着車で、雨滴感応機能をOFFにできない車には、取り付けできません。  
取り付けると車両故障の原因となります。

- △注意 本製品およびオプションアダプター類の取り付けには、車両電装に関する専門知識が必要です。車両への取り付けは、お買い求めの販売店またはカーディーラーにご依頼ください。
- △注意 配線作業時は、車両バッテリーのマイナス端子を外してください。バッテリーを接続したまま作業を行うと、コードをカシメる際やコードの接続時に工具が車体金属部分に触れてショートする恐れがあります。
- △注意 本製品をしま込む際は、次の点に充分注意してください。
  - ・チルトステアリングやコラムシフトを可動した時に、ハーネスの噛み込みが起らないこと。
  - ・ブレーキペダルやアクセルペダルの操作に本製品が干渉しないこと。
- △注意 あまったコード類はショートを防ぐため、必ず絶縁処理してください。また、ワンタッチコネクタやハーネスなどの接続部分には、必ず絶縁テープを巻いてください。
- △注意 OBDIIコネクタから車両と通信を行う機器とは併用しないでください。誤作動の原因となります。
- 電参考 本製品を他の車両に取り付け直すときは、本体に記載されているP/N換出データを消去する必要があります。その場合は設定スイッチ2を一旦「フットブレーキ検出」にしてP/N換出データを消去してください。

## 付属品一覧

- ・リモコン 1個
- ・ワンタッチコネクタ 1個
- ・危険シール 1枚
- ・結束バンド(大) 1本
- ・結束バンド(小) 2本
- ・保証書
- その他印刷物一式



ドアロックコネクタ  
※ドアロックコードやドアロックアダプターと接続する時は保護テープを剥がさないでください。

### メモ

付属品の外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。

## 配線のしかた (ドアロック配線の方法は裏面をご覧ください)

各ハーネスの配線場所は、車種によって異なります。  
詳しい配線場所については弊社WEBサイトから車種別配線情報(以下、ピットマニュアル)をご確認ください。

### 1 車両が次の状態になっていることを確認します。



### 2 アンダーダッシュを外して、本体の取り付け位置を仮決めします。

本体はアンダーダッシュ内に取り付けます。運転を妨げないか注意して、おまかなり取り付け位置を決めます。

電参考 まだ固定しないでください。

#### メモ 場所決めのポイント

- ・しっかり固定できますか？
- ・各ハーネスやコードの長さは足りていますか？
- ・本体の設定スイッチは切り替えやすいですか？
- ・本体のアンテナ部分は車両の金属部分(ボディやコード類など)から5cm以上、離してください。(ETC、レーダー探知機、ナビゲーション機器のアンテナからはできるだけ離してください。)

### 3 車両のキーシリンダーのコネクタを抜き、車種別専用ハーネス(別売)をしっかりと接続します。

電参考 プッシュスタート装着車の場合はピットマニュアル参照



△注意 必ず正しいキーコネクタに接続してください。誤った場所に取り付けると、車両故障の原因になります。

メモ キーコネクタとは、「キーシリンダー裏から出ているコネクタ」または「キーシリンダー裏から出ているコードにつながっているコネクタ」です。

メモ 本体を接続していないと、キーでエンジンをかけられません。

### 4 アースコード(黒)を、車両の金属部分を固定している無塗装のボルトに共締めし、ボディアースします。

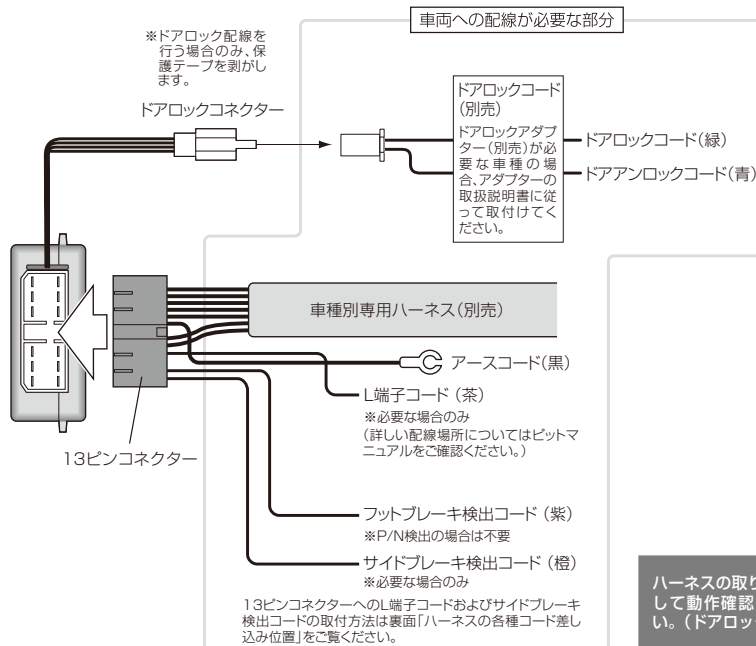
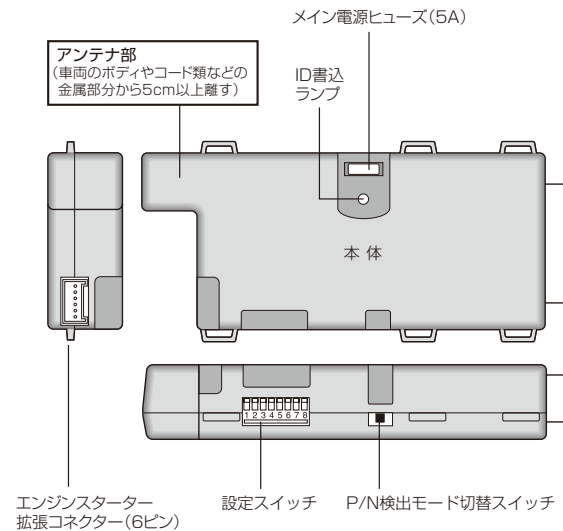
△注意 ボディアースが不完全だと動作不良の原因になります。

△注意 オーディオナビゲーションなど、他の電装品と同じボルトにアースを取り付けしないでください。機器が誤動作したり、オーディオのメモリーが消失する恐れがあります。

### 5 純正イモビライザー装着車の場合は、イモビ付車対応アダプター(別売)を取り付けます。

メモ イモビ付車対応アダプター(別売)の取扱説明書も参照してください。

### 6 13ピンコネクタを本体にしっかりと差し込みます。



13ピンコネクタへのL端子コードおよびサイドブレーキ検出コードの取付方法は裏面「ハーネスの各種コード差し込み位置」をご覧ください。

ハーネスの取り付けが完了したら、裏面を参照して動作確認と本体の設定を行ってください。(ドアロック配線を行う場合も裏面参照)

# 動作確認と本体の設定

車両の特性や使用環境に合わせて本体の設定をする必要があります。また、ドアロック配線を行う場合は、**8**～**9**の作業を行ってください。

## 1 P/N検出が可能が確認します。

**【参考】** 本製品を他の車に取り付け直すときは、P/N検出データを消去する必要があります。その場合は本体の設定スイッチ2を一旦上側(「フットブレーキ検出」)にしてP/N検出データを消去した後、再び下側(「P/N検出」)へ戻し、設定し直してください。

- 1) 車に乗ります。
- 2) セレクトレバーを「P」にしてイグニッションを「OFF」にします。
- 3) 本製品のリモコンでエンジンをかけます。

### エンジンが掛かる場合

P/N検出データが設定済みか、フットブレーキ検出に設定済みです。このまま使用してください。

### 本体から音が出る場合

「ピー・ピー・ピー・ピー、ピー・ピー・ピー・ピー」と鳴ったときは、手順4)に進んでください。他の音が鳴ったときは、取扱説明書42ページの「エラー表示一覧」を参照して対処してください。

- 4) 20秒以内にイグニッションを「ON」(メーターパネルが点灯する位置)にします。  
20秒以内に操作できなかったときは、手順2) からやり直してください。

操作後、しばらくしてから本体が「ビ・ビ・ビ・ピー、ビ・ビ・ビ・ピー」と鳴ったとき

車種別専用ハーネスの品番と取り付け状態を確認してください。

操作してすぐに本体が「ピー」と鳴ったとき

手順5)へ進んでください。

- 5) 20秒以内にブレーキを踏みながら車両のセレクトレバーを「D」または「R」にします。  
20秒以内に操作できなかったときは、手順2) からやり直してください。

本体が「ビ・ビ・ビ・ピー、ビ・ビ・ビ・ピー」と鳴ったとき

取扱説明書33ページの「P/N検出時のST1/ST2切り替え」を参照して、ST1とST2を切り替えてください。

その後、もう一度手順2)からやり直してください。ST1とST2のどちらでも設定できない場合は、P/N検出に対応できない車両です。手順**2**～**3**を参照し、フットブレーキ配線と設定を行ってください。

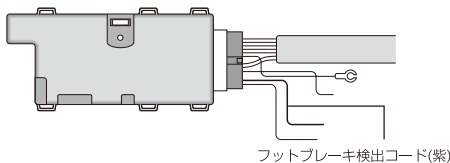
本体が「ピー」と鳴ったとき

手順6)へ進んでください。

- 6) 車両のセレクトレバーを「P」に戻してイグニッションを「OFF」にします。  
これでP/N検出データの設定は完了です。

## 2 車両がP/N検出に対応していない場合は、付属のワンタッチコネクタで、フットブレーキ検出コード(紫)を車両に取り付けます。

※詳しい配線場所についてはビットマニュアルをご確認ください。



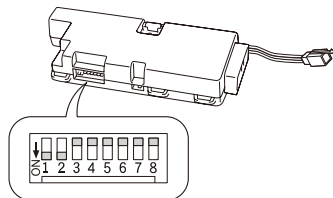
**メモ** **1**でP/N検出が設定できた場合はこの作業は不要です。

車両純正装備のストップランプが白熱球の車の場合、LEDストップランプへ交換すると、フットブレーキ検出機能が使用できないことがあります。

## 3 フットブレーキ検出コード(紫)を取り付けた場合は、設定スイッチ2「フット/PN切替」を「フット(上側)」にします。

※詳しい配線場所についてはビットマニュアルをご確認ください。

## 4 用途に応じて、設定スイッチを切り替えます。



### 設定スイッチ

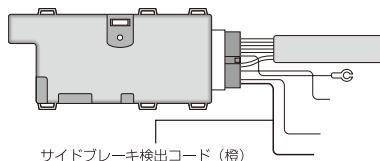
スイッチNo.	機能	OFF	ON
1	パーキングブレーキ検出	検出する	検出しない
2	フット/PN切替	フット	P/N
3	IG2制御	通常	特殊
4	L端子配線	なし	あり
5	(使用しません)	-	-
6	グロータイム	8秒	5秒
7	OP端子出力	A	B
8	ID書込	通常	書込

は工場出荷時設定です。

**メモ** 詳しい設定内容は、取扱説明書28ページの「取り付け時の設定」を参照してください。

## 5 必要に応じて、市販のワンタッチコネクタで、サイドブレーキ検出コード(橙)を車両に取り付けます。

※詳しい配線場所についてはビットマニュアルをご確認ください。



**メモ** 寒冷地などでパーキング(サイド)ブレーキをかけずに駐車する場合は、この作業は不要です。

## 6 サイドブレーキ検出コード(橙)を取り付けた場合は、設定スイッチ1「パーキングブレーキ検出」を「検出する(上側)」にします。

**メモ** 寒冷地などでパーキング(サイド)ブレーキをかけずに駐車する場合は、この作業は不要です。

## 7 動作を確認します。

- 1) 車両のセレクトレバーを「P」にします。
- 2) イグニッションをOFFにし、パーキング(サイド)ブレーキをかけます。  
スマートキー装着車は、純正スマートキーを車から離れた場所に移動させます。
- 3) リモコンでエンジンをかけ、エンジンが正常に始動するか確認します。  
エンジンがかからないときは、取扱説明書40ページの「スターターでエンジンがかからないとき」を参照して対処してください。

## 8 ドアロック機能を使用するときは、車両のドアロックの制御方式に応じて配線します。

### マイナス制御の車(TE202適合車種)の場合

- 1) 別売のドアロックコード(TE202)の緑コードと青コードを車両に配線します。  
※詳しい配線場所についてはビットマニュアルをご確認ください。
- 2) 本体のドアロックコネクタの保護テープを剥がし、ドアロックコードのコネクタを確実に接続します。

### マイナス制御以外の車の場合

店頭または当社WEBサイトの車種別ハーネス適合表を参照して、指定されたドアロックアダプターを使用してください。

**△注意** 車種によってはドアロック機能が使用できない場合があります。店頭または当社WEBサイトの車種別ハーネス適合表で確認してください。適合しない車両に配線すると、車両故障や不具合の原因になります。

## 9 ドアロック配線を行った場合は車両のドアをすべて閉めて、ドアロック機能の動作を確認します。

## 10 本体を付属の結束バンド(大)でアンダーダッシュ内にしっかりと固定し、余ったコード類を付属の結束バンド(小)で運転の妨げにならないように束ねます。

## 11 付属の危険シールを、エンジンルーム内の目立つところに貼り付けます。



これで本体の取り付けと設定は完了です。

### 参考

### 車種別配線情報(以下、ビットマニュアル)のご案内

- ご利用方法** ※PDFファイルの開覧ソフトが必要です。
- ① <https://www.carmate.co.jp/matching/> にアクセスします。
  - ② 表示される案内に従い、製品ジャンルと車種・年式・グレードを選択してください。
  - ③ 適合検索結果のページに表示される「車種別配線情報」のリンクから、ビットマニュアルを参照してください。

### ご利用上の注意

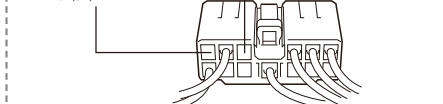
- ※ビットマニュアルは全車種を網羅するものではありません。
- ※ビットマニュアルはオプションなどすべての配線を網羅するものではありません。
- ※当サービスを利用して、カーメイトリモコンエンジンスターター以外の製品を付けた場合の不具合について、当社はその責任を一切負いません。
- ※ビットマニュアルの無断転載・無断引用・商用利用・無断リンク等の行為は固くお断りします。
- ※上記注意事項に反する行為が認められた場合、予告無くサービスの中止や提供方法の変更を行うことがあります。

### ワンタッチコネクタの使いかた

- 1) 本製品のコードを差し込む
- 2) 車体側のコードを通す
- 3) プライヤーなどで金具を押し込む
- 4) カバーをして絶縁テープを巻く

### ハーネスの各種コード差し込み位置

サイドブレーキ検出コード(橙)はここに



コードの差し込みかたは次のとおりです。

- 1) 千枚通しなど先のとがったものを使ってロックピンを外します。
- 2) カシメ部を下にして指定の位置にコードを差し込みます。
- 3) ロックピンを元に戻します。

商品についてのお問い合わせ・補修パーツのご注文は下記サービスセンターへ

株式会社 **カーメイト** 〒171-0051 東京都豊島区長崎 5-33-11

商品のお問い合わせ：カーメイトサービスセンター

◆スターター・カーセキュリティ専用タイヤル  
TEL:03-5926-1216 FAX:03-5926-1218